



講師：崔善愛氏
(ピアニスト)

講師経歴：北九州出身。愛知県立芸術大学院修了。米国インディアナ大学大学院へ留学。韓国、ドイツなど内外の音楽祭に招かれ、演奏活動を続ける。21歳の時に指紋押捺拒否により、再入国が不許可となり、特別永住資格を14年間うばわれた経験を持つ。恵泉女学園大学などで講師も務める。日本ペンクラブ平和委員。著書に『ショパン 花束の中に隠された大砲』（岩波ジュニア新書）『父とショパン』（影書房）『十字架のある風景』（いのちのことば社）など。

日時 2017年 12月 12日(火)
13:10-14:40 (3限)

会場 神田外語大学 5号館
ミレニアムホール

司会 水野孝昭先生
(本学国際コミュニケーション学科教授)

抵抗の音楽——私とショパン

「ピアノの詩人」とよばれるショパンの曲は、花束のように美しい。パリ社交界の花形だった経歴から、ロマンチックな印象を持つでしょう。

しかし、ショパンは祖国ポーランドを失って家族と引き離された亡命者でした。

その音楽には、抵抗する「大砲」が隠されているのです。

在日3世のピアニスト崔善愛(チェ・ソンエ)さんが、そうしたショパンを語ります。

日本で生まれ育った崔さんも21歳のとき、「外国人」として強制された指紋押捺を拒否。米国に留学した時は日本への帰国を認められずに、家族と離れ離れになりました。

「祖国」とは何なのか、「在日」とは誰なのか、ショパンを聴きながら考えましょう。



神田外語大学 グローバル・コミュニケーション研究所